

パスポートのいらない 海外へ ひとり旅しませんか。

海外文学を読む

たのしみとは？

余田先生、

教えてください。

バックパックひとつを背負って、

海外の異文化のなかに飛び込む。

ひとりきりの心細さと

解放感を味わいながら、

奇妙な習慣や光景に驚かされたり、

逆に意外な共通点を発見したり。

そんなサプライズに満ちた非日常の体感こそ、

外国をひとりで旅する醍醐味ではないでしょうか。

海外文学を読むことは、このひとり旅の感じに

よく似ています。異文化に生きる作者の言葉で紡がれた

世界は、私たちとは異なるものさしでできています。

いわばなじみのない外国のような世界です。

そこであなたは思わぬ事件に巻き込まれたり、

時空を超える冒険をしたり、印象的な人物と出会ったり、

魅力的な思考に遭遇したりするでしょう。

じわじわと感情を揺さぶられて、

自分を見つめ直すこともあるでしょう。

海外文学を通じて、ぜひ異文化の片鱗に触れて

ほしいと思います。



総合文化学科

教授 余田真也



和光3分大学

現代人間学部

小田急線鶴川駅から

表現学部

徒歩約15分

経済経営学部

<http://www.wako.ac.jp/>

ひとりを光らせる

和光大学